



## 見えざる敵 新型コロナウイルス

北陸銀行 国際部  
上海駐在員事務所  
山本 洋輝

### 1. はじめに（新型コロナウイルスの発生と拡大）

中国・湖北省の武漢を発生源とした新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、中国国内から世界各国に感染者が拡大しています。日本国内でも感染者が日に日に増加しており、終息の兆しが見えません。

### 2. 過熱する日本の報道と落ち着いた上海

「武漢で原因不明な肺炎が蔓延している」。年明け早々にそのような情報が入ってきた時、「大したことはないだろう」と楽観的に捉えていましたが、日に日に感染者が増加していきました。昨年12月に武漢へ出張した自分は果たして大丈夫なのだろうかと不安も膨れ上がりました。武漢市は人口1,100万人の大都市であり、中国の中心に位置することから交通・物流の要衝でもあります。人・車の往来が非常に激しかった武漢市内が、市内・省内封鎖により人影が消えてしまったニュースに衝撃を受け、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいことを実感しました。

一方で、我々の事務所がある上海市内では、豫園や上海ディズニーランド等の主要観光スポットが閉鎖され、上海市政府より不要不急の外出を控える旨の通達が出されたこともあり、市内は静まりかえりました。



【人影が消えた上海中心部：2020年1月末 筆者撮影】

連日、新型コロナウイルス感染症に関する報道が大々的に取り上げられていた日本とは対照的に、上海市内の状況は比較的落ち着いていたこと、上海市の新型コロナウイルス感染症の感染件数も人口2,400万人に対し300件程度と僅かであったこともあり、危機感は殆ど感じていませんでした。そのため、1月末に一時帰国命令が下った際には「こんなに落ち着いているのに何故？」と疑問に思ったのが率直な感想でした。

### 3. 新たに生まれたサービス

新型コロナウイルス感染症が拡大の兆しを見せ始めた頃に「アリババ」や「テンセント」をはじめとした中国のテック企業が新型コロナウイルス感染症の感染・拡大、情報共有のために様々なサービスを展開し始めたので一例を紹介致します。

#### (1) 感染状況の可視化サービス

大手IT企業「テンセント」は、感染者数や感染疑似者、死亡者数、治癒者数を地域毎にまとめ、リアルタイムで状況が把握できるサービスを展開しています。また、中国大手検索サイト「百度（バイドゥ）」では、各都市間の人の流れをリアルタイムで把握することができるサービスや、感染者が発生したエリア・建物や人が混雑し易いエリアを地図アプリ上で表示するサービスの提供を開始しました。

#### (2) オンライン診察サービス

病院来院による健常者への感染拡大を防ぐため、「アリババ」や「平安好医生」といった医療プラットフォームを展開する企業は、無料オンライン診察サービスの提供を開始しました。24時間、ネット上で専門医やAIポッドを通じて問診や相談をすることが可能であり、感染の疑いがある場合は診察待ちが少ない最寄りの医療施設を紹介してもらえるサービスです。



(医療オンラインサイト『丁香医生』の画面)

## 4. おわりに

新型コロナウイルス感染症の発生から中国国内の状況は一変しました。春節期間の延長や行動範囲の規制もあり、正常な状態に戻るにはまだまだ時間がかかることが予想されます。また、報道でもあるように日系自動車メーカー生産停止やApple製品の生産低迷等、中国経済だけでなく世界経済への影響も懸念されます。特に、昨年より減速傾向にあった中国経済にとっては非常に大きな痛手であり、企業の倒産件数も増加すると考えられます。

今回紹介したサービスは、2002年にSARSが発生した際、中国政府が情報統制を敷いた経緯から、中国政府の情報開示に対する不信感が背景にあって生まれたものと考えられます。「必要は発明の母」という言葉を体現する良い事例だと言えます。

中国と日本では政治・医療制度が異なることや、個人情報保護よりも新型コロナウイルス感染症の防疫が優先されていることを考えれば、日本で同様のサービスが生まれるかどうかはわかりませんが、参考になる部分はあると思います。新型コロナウイルス感染症による影響が一日も早く終息することを願います。

以上

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

**ほくりく長城会**

**長城メール**

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局

〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F

((株)人材情報センター内)

TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565

E-mail: info@chojo-hokugin.jp